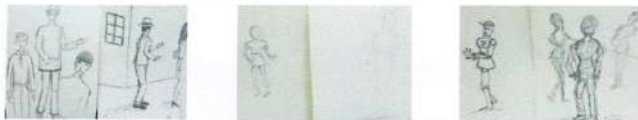


(中画からつづく)

その後、鉛筆デッサンに移り、最も難しい人体(瘦型)に挑戦しました。アニメ作家が使用する可変式の人形を素材に、手足のバランスをしっかりと押さえつつ、その動きが不自然にならないよう苦心して書き上げた作品は写真の通りです。久々の鉛筆デッサン、作品作りの参考になれば幸いです。



(会員のデッサン)



はんの会

No.240



ナンキンハゼと小鳥 MIZUE, NA

表紙絵 中野 瑞恵
2021年9月5日発行

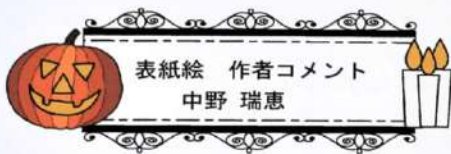
11月の学集会予定及び会場の変更について

初台市民会館の行事のため使用できません。
佐藤さんのご厚意により下記の会場に変更になります。

- ① 日時 11月14日(日) 11:00~15:00
- ② 会場 サンシティー洋室
 - * 集合:都営三田線「志村三丁目駅」(改札口10:40)
- 午前の部(10:00~12:00)
 - ・ 10月の表紙絵の制作プロセス解説 (担当:中野)
 - ・ 第35回作品展の反省会
- 午後の部(13:00~)
 - ・ 講習:組(糸)版画 (担当:中野)
 - (タコ糸・絵の具墨汁は用意いたします。)
 - (持ち物)
 - 新聞紙・葉書20~30枚・エプロン

はんの会 事務局

〒272-0062 船橋市坪井町600-29
安田 彰 Tel・Fax 047-464-6870
ホームページ : www.hannokai.net



題名 ナンキンハゼと小鳥

(作品の制作過程のプリントをご参照ください)

③以外、コロジオン原紙と書き描液で製版しそれぞれ色を付けました

- ・ ①主版を焦げ茶色で刷る
- ・ ③中心部以外のバックをベージュ色で刷る(これだけ紙版画)
- ・ ④窓と葉を空色で刷る
- ・ ⑤鳥の頬と足をアレンジ色で刷る
- ・ ⑦ナンキンハゼ葉(影)を焦げ茶色で刷る
- ・ ⑧ナンキンハゼの黄葉と白味を黄土色で刷る

(11月の表紙絵は姫井さんです)

10月の学習会について

- ① 日時 10月16日(土) 10:00 現地集合
- ② 場所 印刷博物館
(文京区水道橋1-3-3 TOPPAN 小石川ビル)
※ 70歳以上は入場無料
- * 飯田橋駅/徒歩13分(総武線東口・地下鉄B1出口)
- * 江戸川橋/徒歩8分(有楽町線4番出口)
- ③ 参加予定者数 5名 (10月2日現在)
- ④ 研修内容:学芸員による案内解説/印刷工房体験
(別料金¥2,000)

9月の学集会報告

■ 午前の部 (10:00~12:00)

1. 会員の動静

- ・ 黒川さん : コロナ禍、出席困難のため退会。
長い間、会報の制作など本当に有難うございました。
- ・ 松本さん : 体調不良のため退会。
回復されますようお願いいたします。
- ・ 源川さん : ご主人の体調不良により休会。
ご主人の回復と復帰をお待ちしております。

2. 第35回孔版画展の準備確認

- ・ 8月号表紙絵の解説は、松本さん欠席のため割愛。
- ・ 松本さん、黒川さん退会に伴い、改めて役割分担の調整をいたしました。
皆様、ご協力を頂き有難うございました。

3. 今後の会報発行について (原則月末刊)

- ・ 原稿作成 : 安田
- ・ 制作 : 三文字
- ・ 発送 : 栗林(表紙絵は20日までに栗林さん宛てに17部郵送)
- ・ ホームページの更新管理 : 三文字(毎月)

■ 午後の部 (13:00~15:00)

【構図と配色を考える】 担当 安田



講習会は、孔版画にこだわらず、絵画に関する幅広いテーマを、各自の興味と関心に基ずき、自由に取り上げることが確認されました。これを受け、今回は資料の説明をしながらクイズ形式で行われました。

故、嘉郎先生は、「技術は教えられるが、センスは教えられない」と良くおっしゃってありました。学習や研鑽を通してセンスを磨けば、多少なりとも身につくことは可能との趣旨で行いました。

内容は、いわば定番をおさらいする形で構図の基本を学び、

あわせて名画の構図や配色の秘密を、オリジナル作品とそれを变化させたバリエーションと比較検討によってその違いを皆で考えるという物でした。(写真1.2参照)
多少なりとも身につくことは可能との趣旨で行いました。
たしかに構図も配色も好みや個人差があって、一概にはこれがベストとは決めつけられません。古典として今日まで残された名画や名作は、大勢の人々の「共感」の集積結果ともいえます。私たちもそれを学びつつ、独りよがりではないより多くの「共感」を目指した作品作りをしたいものです。

